

講演会 Web配信(収録版)

視聴
無料

公開期間 (限定配信)

2022.1.11(火)9:00～1.24(月)12:00

第35回 寒地土木研究所講演会を共済ホールで収録したものをWeb講演会として配信いたします。

プログラム

基調
講演

「土木事業におけるリスクマネジメント」

高知工科大学 経済・マネジメント学群

(約60分)

教授 渡邊 法美

一般
講演

「様々なリスク要因に対応する寒冷地舗装技術の開発」

寒地道路保全チーム
上席研究員 丸山 記美雄

(各約30分)

「北海道における斜面災害の発生要因と
リスクへの対処方法について」

防災地質チーム
上席研究員 倉橋 稔幸

「地質・地盤リスクにONE-TEAMで対応する」
—地質・地盤リスクマネジメントの導入と運用—

つくば中央研究所
地質研究監 阿南 修司

視聴のお申し込みは

●寒地土木研究所HP

<https://chouseikan.ceri.go.jp/web/event/>



2.5単位 JSCE21-1430

※本講演は、公益社団法人土木学会継続教育(CPD)プログラムとして認定されています。

※11月11日現地開催の第35回寒地土木研究所講演会にご参加いただきCPD受講証明書を受領された方は、本Web配信と重複してCPD受講証明書を発行することができませんので、事前申し込みおよび認定団体へ申請の際はご注意ください。

お問い合わせ

国立研究開発法人 土木研究所 寒地土木研究所 寒地技術推進室
TEL:011-590-4046 FAX:011-590-4048

第35回 寒地土木研究所 講演会

【基調講演】



「土木事業における リスクマネジメント」

渡邊 法美

高知工科大学
経済・マネジメント学群教授

講演者プロフィール

- 1983年3月 北海道大学工学部衛生工学科卒業
- 1985年3月 北海道大学大学院工学研究科 衛生工学専攻修士課程修了
- 1987年5月 ジョーンズ・ホプキンス大学大学院地理環境工学科修士課程修了
- 1990年1月 ジョーンズ・ホプキンス大学大学院社会人コース非常勤講師
- 1991年3月 ジョーンズ・ホプキンス大学大学院地理環境工学科博士課程修了
- 1991年4月 東京大学工学部土木工学科助手
- 1993年4月 東京大学工学部土木工学科講師
- 1996年6月 東京大学工学部土木工学科助教授
- 1997年4月 高知工科大学社会システム工学科助教授
- 2004年4月 高知工科大学フロンティア工学教室助教授
- 2006年7月 高知工科大学フロンティア工学教室教授
- 2008年4月 高知工科大学マネジメント学部教授
- 2015年4月 高知工科大学経済・マネジメント学群教授
(現在に至る)

【委員歴】

- ・ Sustainability, Guest Editor: Special Issue of “Development of Renewable Energy from Perspectives of Social Science”
- ・ 国土交通省 発注者責任を果たすための今後の建設生産・管理システムのあり方に関する懇談会 建設生産・管理システム部会委員
- ・ 国土交通省 社会資本整備審議会道路分科会 四国地方小委員会委員長
- ・ 国土交通省四国地方整備局 四国地方整備局総合評価委員会委員長
- ・ 国立研究開発法人土木研究所 土木事業における地質・地盤リスクマネジメント検討委員会
- ・ 高知県入札・契約監視委員会委員長
- ・ 高知県土木部総合評価委員会委員長
- ・ 高知県建設業協会 倫理委員会委員

【受賞歴】

- 2012年 土木学会建設マネジメント委員会論文賞
「地方公共工事における総合評価方式の特性と入札・契約制度改革に関する一考察」

【一般講演】

「様々なリスク要因に対応する寒冷地舗装技術の開発」

丸山 記美雄 寒地土木研究所 寒地道路保全チーム 上席研究員



舗装事業を取り巻くリスク要因としては、舗装ストックの老朽化、投資余力の低下、少子高齢化の進展に伴う労働力の減少、気候変動による災害の激甚化などが挙げられます。加えて、積雪寒冷地では寒冷環境に起因するリスクへの対応も求められ、多岐にわたるリスク要因に対応する技術開発が求められています。寒地道路保全チームでは、前述したリスク要因に対応して安全安心な社会の構築に貢献するために、老朽化した舗装ストックの点検・診断・補修を効果的に実施する方法の開発や、冬期路面時の走行安全性などのサービスレベルをコスト面も考慮しながら確保する舗装技術などの研究開発に取り組んでおり、これらの内容をご紹介します。

「北海道における斜面災害の発生要因と リスクへの対処方法について」

倉橋 稔幸 寒地土木研究所 防災地質チーム 上席研究員



斜面災害の発生要因は、地形や地質等の素因と、気象や地震等の誘因とに大きく二つに分けられます。これら二つの要因が複雑に絡み合い、北海道では過去から多くの斜面災害が発生してきました。特に北海道は積雪寒冷地であることから、融雪・凍結融解等の気象による誘因が斜面災害の発生に大きく関与していることが特徴的です。例えば2012年の一般国道230号中山峠や一般国道239号霧立峠では融雪による地すべり災害が国道を長期間にわたる通行止めとしました。そこで本講演では、近年における北海道で特徴的な斜面災害の事例を取り上げ、その発生要因を分析し、その災害発生リスクへの対処する調査方法について紹介します。

「地質・地盤リスクにONE-TEAMで対応する」 —地質・地盤リスクマネジメントの導入と運用—

阿南 修司 つくば中央研究所 地質研究監



地質や地盤は直接確認することが難しいという特性があり、地質・地盤条件の見逃しや見誤りは、工期の遅延や事業費の増大といった形で事業に大きな影響を与えます。「地質・地盤リスクマネジメント」とは、このような地質・地盤に関わる事故やトラブルを最小化して安全かつ効率的に事業を進めるための仕組みのことで、土木研究所では地質・地盤リスクマネジメントの体系を構築することを目指し、事業の各段階で地質・地盤リスクを正しく評価し、適切に対応する技術の開発を行っています。ここでは、これまでにまとめた地質・地盤リスクマネジメントの導入と運用の考え方と事例について紹介します。